彩の国さいたま人づくり広域連合　研修紹介（令和元年度新規研修）

協働コーディネート能力（つなぐ力）向上（市町村職員研修）

1　はじめに

少子高齢化社会が加速し、単身・高齢者世帯が増加するなど地域社会構造は大きく変化しています。多様化・複雑化する地域の課題やニーズに対応・解決し、地方創生を推進していくためには、行政の取組だけではなく、住民をはじめとする地域内の様々な主体との「協働」が不可欠となっています。

そこで、協働の場における自治体職員としての役割や地域との関わり方について理解し、地域と行政との調整役として協働を推進するために必要な実践的スキルを身につけられるように、住民協働に携わる市町村職員を対象とした「協働コーディネート能力（つなぐ力）向上」研修を新たに実施しました。

2　研修内容

本研修は、講師に青森中央学院大学の佐藤淳准教授をお迎えし、1日目は主に「講義」、2日目は「演習（体験）」を中心に、知識と経験の両方を積むことを目指しました。

1日目は、午前中に「協働とは何か」「協働担当職員の役割とは何か」といった協働に関する基礎的な知識を学びました。協働担当者の役割を端的に言えば、「地域の多様な主体の①主体性、②創造性、③情熱を開放する」ことであり、この役割を全うすることで、地域について「本気になる人」を増やしていくことができる、というのが佐藤講師の持論です。

次に、「問いかけカード」を用いた自己紹介を行いました。このカードは、最初は小学生の頃抱いていた夢のことなど比較的簡単な質問から始まり、仕事や仲間についての質問へと進んでいきます。カードの質問に従って徐々に「自己開示」をすることにより、グループ内の信頼関係を築き、対話がしやすくなることを実感しました。

午後は引き続き、対話の重要性や対話を阻害する要因などを学ぶとともに、佐藤講師がアドバイザーを務める静岡県牧之原市における「対話による協働のまちづくり」の取組事例を紹介していただき、協働の実践に関する知識をさらに深めました。

2日目は、グループワークの中での意見の引き出し方や意見を言いやすい環境づくりを、演習を通じて学びました。最初に「準備運動」として、2人1組でストーリーテリング（自分語り）を行いました。自分の意見を伝えること、インタビュアーとして相手の意見を掘り下げること、さらに、相手から聞いた話を他者に伝えること、という3つの役割を経験し、難しさや要領を体感しました。

続いて、ワールドカフェを行いました。ワールドカフェは、少人数の班を複数編成し、「カフェにいるような」リラックスした雰囲気の中で意見交換を数回繰り返します。1回ごとに数名を残してメンバーが「世界旅行のごとく」テーブルを移動し、前の回で出た意見を紹介・共有した上で更に意見を出し合います。実際に話し合うのは少人数でも、共有の繰り返しによってあたかも全員で話し合ったかのように意見や知識を広げ・深め、共有できることが特徴で、ワークショップにおける有効な対話手法のひとつです。今回の研修では、協働担当職員として上手くできていること・できていないこと、ありたい姿などについて各々自由に意見を出し合いました。

午後は、プロアクションカフェに移りました。少

人数の班編成で、リラックスしながらの対話を数回繰り返すところはワールドカフェと同様ですが、プロアクションカフェでは、各班は１人の「テーマ提案者」と複数の「支援者」で構成されます。テーマ提案者は「○○をどうすればよいか」について、問題意識を語り、支援者は入れ替わりながら提案者に質問・助言を行います。質疑を重ねる中で、テーマについて背景・課題・必要な支援など多角的に掘り下げ、次に繋がる具体的行動を生み出そうとする手法です。

今回のテーマは、ワールドカフェを通じて受講生から出された「協働担当者として解決したいと思っていること」の中から講師が選んで設定しました。つまり、「ワールドカフェ」で話し合うテーマを洗い出して問題の共有を行い、「プロアクションカフェ」にて意見交換などを通じて問題の解決を行うという流れです。

最後に、ファシリテーターとして必要な、話合いの質を高めるための留意点などを確認した後、２日間の振り返り（ハーベスティング）を行い研修は終了しました。

研修生からは、「様々なワークショップの手法を紹介してもらったので今後の業務に活かしていきたい。」、「役立つ手法をたくさん聞けて勉強になった。」など、前向きな意見が多く寄せられました。これは、佐藤講師が「話しやすい環境づくり」を研修の場で実践してみせる中で、研修生同士が有意義な対話を重ねることができた結果だと思われます。

当広域連合では、来年度も引き続き住民協働に関する知識・手法を学ぶ研修を実施し、地方創生の推進や地域課題の解決の一助となるよう努めてまいります。ぜひ御活用ください。

○カリキュラム

日 程	内 容
１日目	• チェックイン（ウォーミングアップ） • 問いかけカードによる自己開示 • 地域における「対話」の重要性 • 事例紹介（静岡県牧之原市） • ハーベスティング（まとめ）
２日目	• ストーリーテリング • ワールドカフェによる問題共有 • プロアクションカフェによる問題解決 • 対話の場をデザインするには • ハーベスティング（まとめ）